

2015年1月期 第2四半期決算報告

株式会社丹青社

(証券コード:9743)

<http://www.tanseisha.co.jp/>

目次

PART 1

会社概要

PART 2

①2015年1月期第2四半期業績概況

②セグメント別業績概況

PART 3

2015年1月期 業績見通し

PART 1

会社概要

会社概要

丹青社の空間づくりは、創業者 渡辺正治が戦後活気づく百貨店の店内装飾を東京（上野）で手がけたことからスタートしました。

その後もエポックメイキングな空間創造に多数携わりながら、「こころを動かす空間づくり」への取り組みを続けています。

【商号】	株式会社丹青社
【設立】	1959年12月25日
【上場】	東京証券取引所市場第一部（証券コード：9743）
【資本金】	40億26百万円
【従業員数】	1,120名（連結）
【連結子会社】	11社
【営業拠点】	国内13拠点 海外2拠点（上海・北京）
【事業内容】	総合ディスプレイ業
【決算期】	1月31日

事業分野

事業区分		事業内容	主要な施設	主要な取引先
ディスプレイ業	商業その他施設事業	商業施設全般(チェーンストア事業に係るものを除く)の内装(設計・施工)	百貨店・大型SC、各種専門店、飲食店、イベント・販促施設、アミューズメント施設、その他公共施設等	大手百貨店、電鉄会社、自動車メーカー、家電メーカー、住宅関連メーカー、アミューズメント企業等
	チェーンストア事業	チェーン展開型店舗施設の内装(設計・施工)	チェーン展開型の飲食店・アパレルショップ、コンビニエンスストア等	チェーン展開型の飲食店・アパレルショップ、コンビニエンスストア等
	文化施設事業	博物館、美術館、企業ミュージアム等の内装(設計・施工)	博物館、美術館、企業ミュージアム等	中央省庁、各地方自治体等
その他		商業施設の運営・管理 不動産賃貸管理		

業務の範囲

「空間づくり」のプロセスをトータルにサポート

調査・企画からデザイン・設計、制作・施工、運営まで、空間づくりのあらゆるプロセスをサポートしています。

お客様のニーズにあわせてワンストップでプロジェクトの推進をお手伝いすることが可能です。

空間づくりのあらゆるプロセスをサポート



- コンサルティング

- 各種調査

- プランニング

- 異業種提携

- ブランディング

- プロジェクトマネジメント

- デザインコンセプト

- 平面レイアウト

- 基本・実施設計

- 設計監理

- 制作・施工

- 施設の管理運営

- 保守、メンテナンス

- 販促・イベント計画

- 評価・検証・効果測定

ディスプレイ業界の特徴

- 市場規模は1兆2,000億円程度（当社のターゲットとなるのは8,000億円程度）
- 業務内容が幅広い（あらゆる施設の調査、企画、設計、施工、運営管理）
- 特定分野に特化した中小企業が大半を占める（最大手でも市場シェアは10%に満たない）
- 景気動向に業績が左右されるケースが多い
- 各四半期ごとに利益が積みあがる構造ではない

＜売上高の推移＞

（単位：百万円）

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度 （計画）
乃村工藝社	90,105	87,464	101,316	98,410	103,000
丹青社	53,441	52,049	53,571	57,074	61,000
スペース	29,228	32,970	36,684	42,235	43,590

※ あらゆる分野で事業展開を行っている総合ディスプレイ業者は当社と乃村工藝社の2社のみ

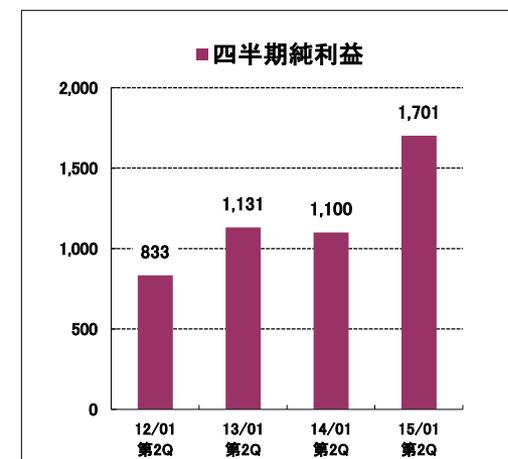
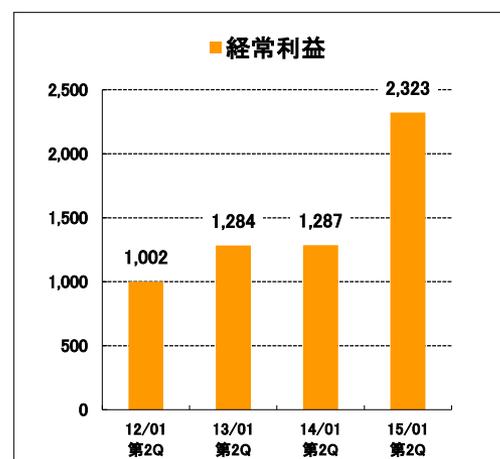
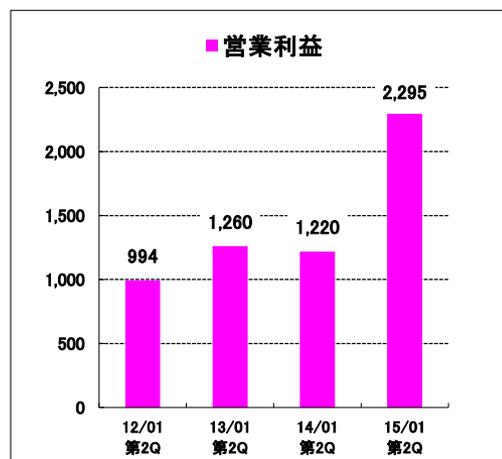
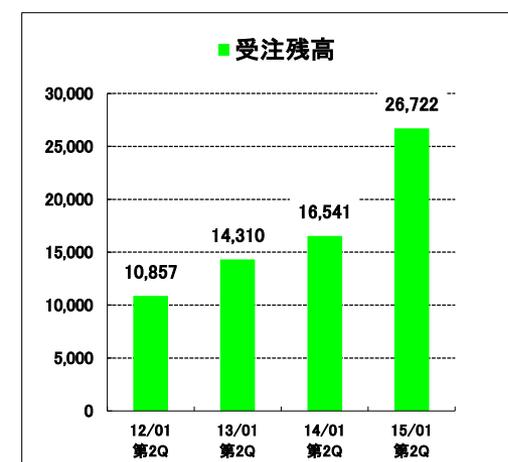
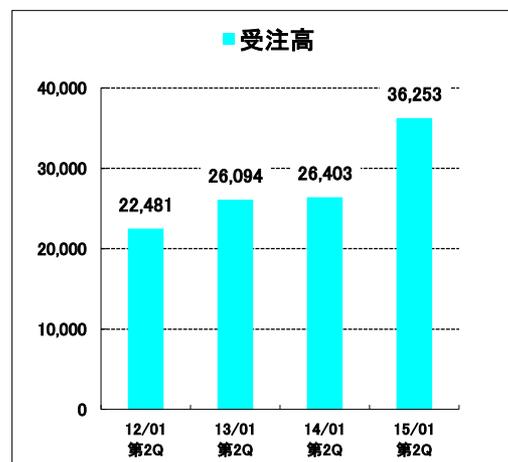
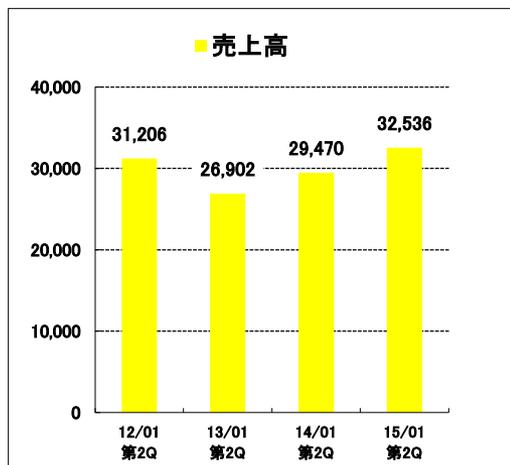
PART 2

2015年1月期 第2四半期 業績概況

2015年1月期 第2四半期 サマリー情報

- 当第2四半期は前年同期比で増収・増益となった。
- 受注高および受注残高については、市場環境の改善を受け、前年同期を上回った。

(百万円)



2015年1月期 第2四半期 業績概況

- 当第2四半期は、前年同期比で増収・増益となった。
- 収益性改善に向けた施策が引き続き寄与し、売上総利益率は前年同期を上回る結果となった。

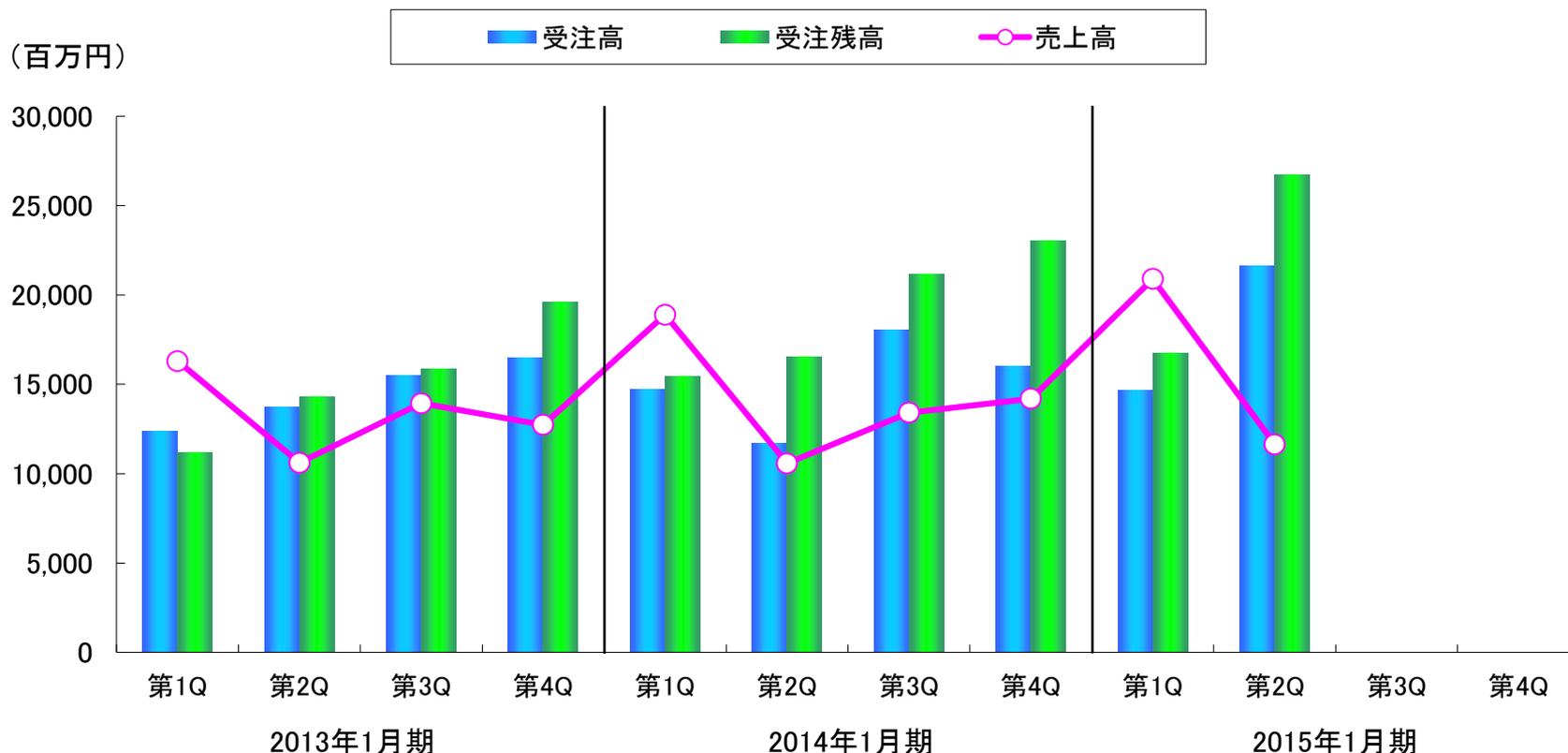
(百万円)

	14/01 第2Q		15/01 第2Q		増 減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	率 (%)
売 上 高	29,470	100.0	32,536	100.0	3,066	
売 上 原 価	24,825	84.2	26,689	82.0	1,864	△2.2
売上総利益	4,645	15.8	5,847	18.0	1,202	2.2
販 管 費	3,425	11.6	3,551	10.9	126	△0.7
営業利益	1,220	4.1	2,295	7.1	1,075	2.9
営 業 外 収 益	107		83		△24	
営 業 外 費 用	40		55		15	
経常利益	1,287	4.4	2,323	7.1	1,035	2.8
特 別 利 益	1		52		50	
特 別 損 失	0		3		3	
四半期純利益	1,100	3.7	1,701	5.2	601	1.5
E P S (円)	34.25		53.03		18.78	
R O E (%)	8.9		11.0		2.1	

※ 2014年2月1日付で株式分割(1:1.3)を実施しており、EPSについては株式分割の影響を遡及させて記載しております。

各四半期ごとの受注高・売上高・受注残高の推移

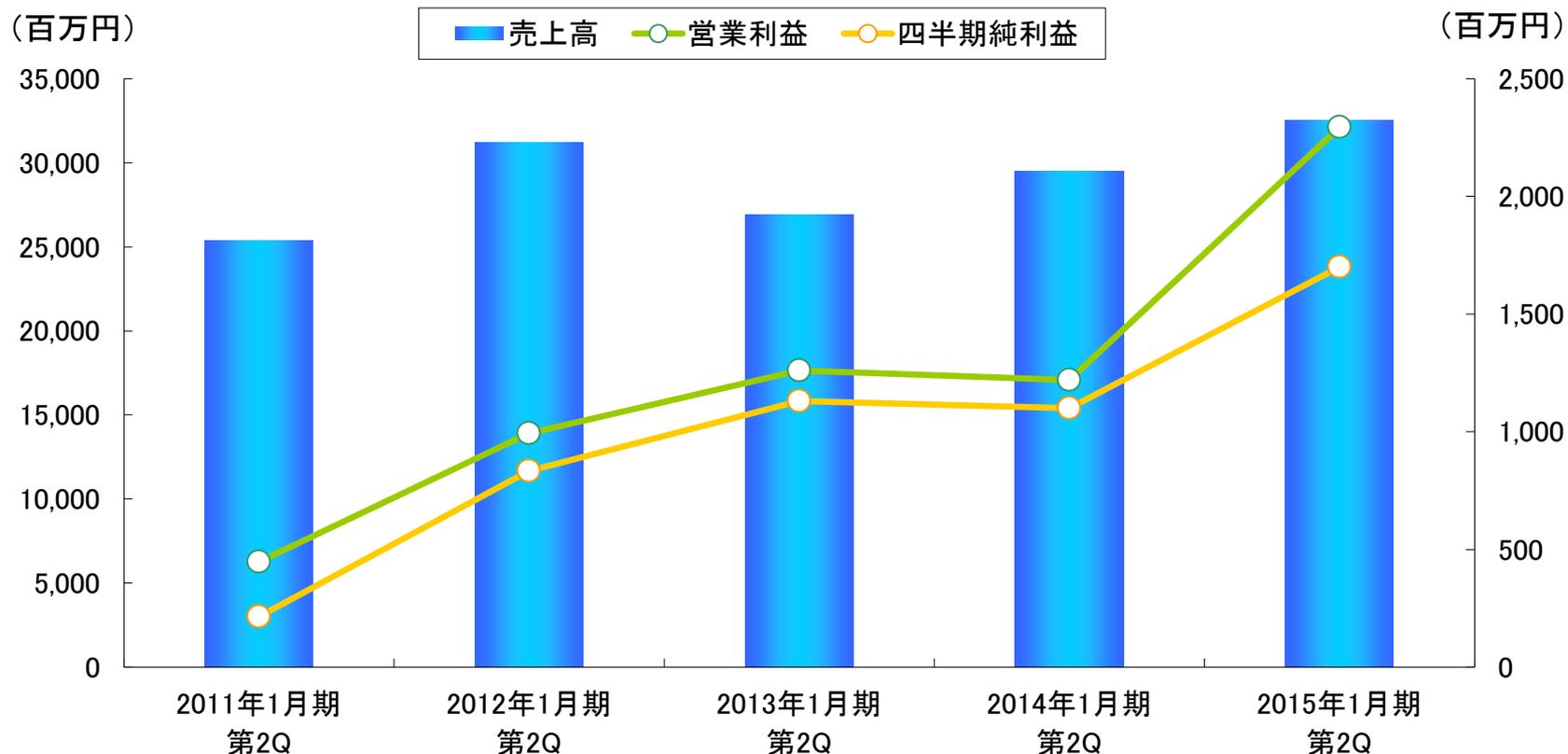
● 主に商業その他施設事業において新規受注高が増加したことを受け、受注残高についても増加となった。



	2013年1月期				2014年1月期				2015年1月期			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
売上高(百万円)	16,294	10,607	13,933	12,735	18,890	10,580	13,409	14,193	20,894	11,641		
受注高(百万円)	12,373	13,720	15,492	16,473	14,724	11,679	18,041	16,026	14,642	21,611		
受注残高(百万円)	11,197	14,310	15,870	19,607	15,441	16,541	21,173	23,005	16,752	26,722		

売上高・営業利益・四半期純利益の推移

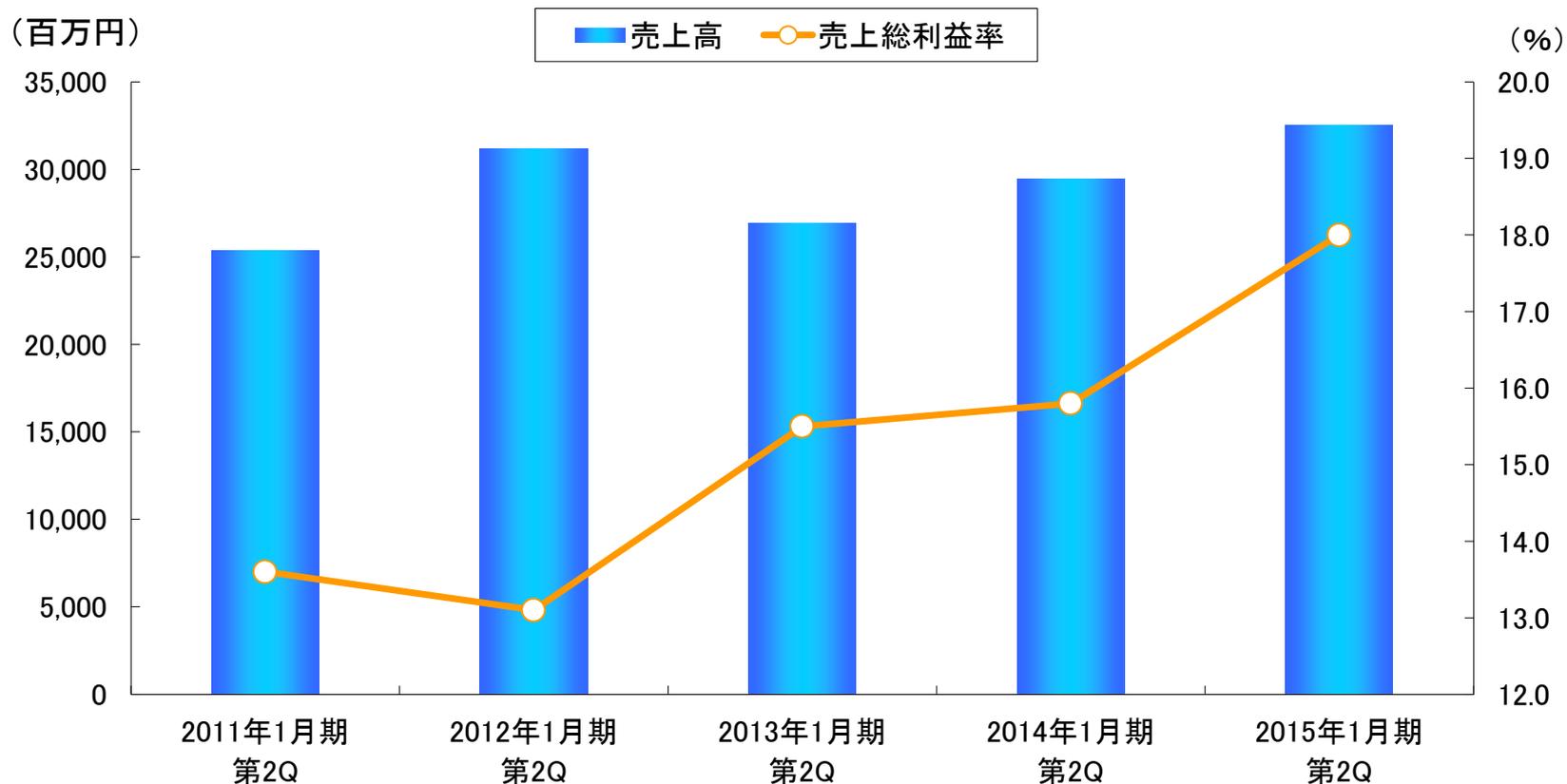
● 売上高については市場環境が改善し増収となり、利益面についても収益性改善に向けた施策が寄与し、増益となった。



	2011年1月期第2Q	2012年1月期第2Q	2013年1月期第2Q	2014年1月期第2Q	2015年1月期第2Q
売上高(百万円)	25,354	31,206	26,902	29,470	32,536
営業利益(百万円)	447	994	1,260	1,220	2,295
四半期純利益(百万円)	214	833	1,131	1,100	1,701

売上高および売上総利益率の推移①

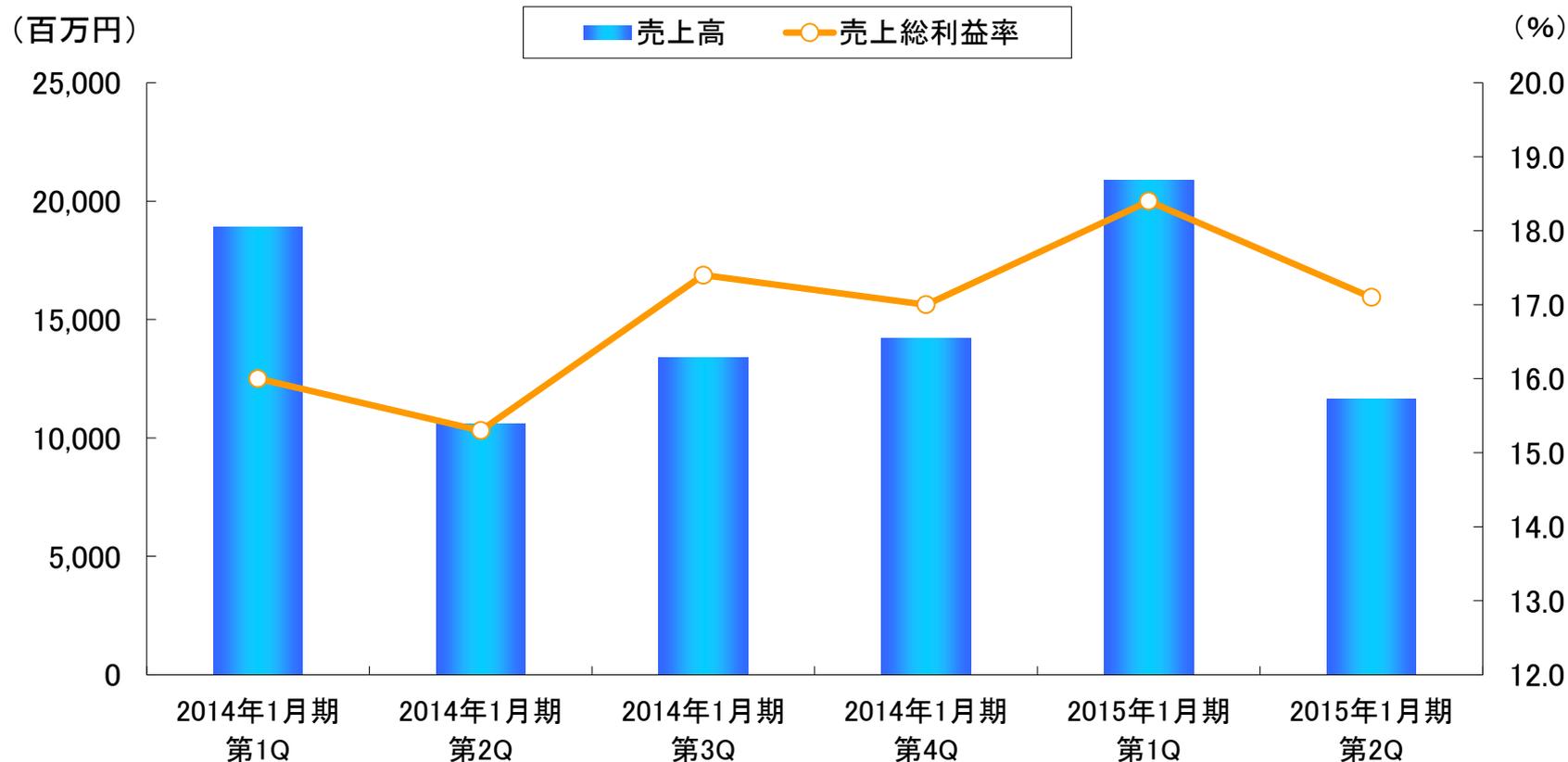
● 市場環境の改善と収益性向上へ向けた施策の効果が重なり、売上総利益率は上昇した。



	2011年1月期第2Q	2012年1月期第2Q	2013年1月期第2Q	2014年1月期第2Q	2015年1月期第2Q
売上高(百万円)	25,354	31,206	26,902	29,470	32,536
売上総利益率(%)	13.6	13.1	15.5	15.8	18.0

売上高および売上総利益率の推移②

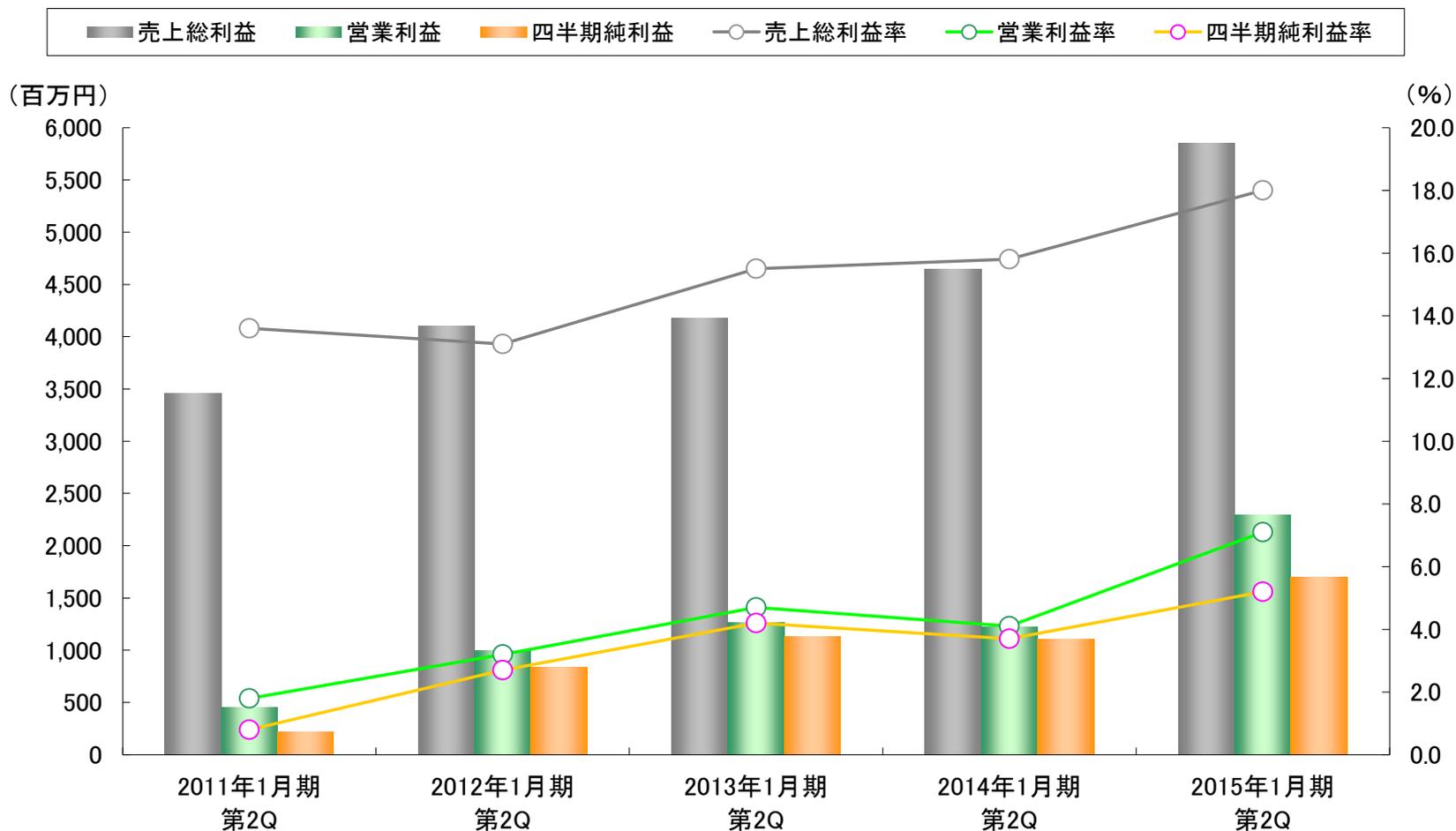
● 市場環境の改善と収益性向上へ向けた施策の効果が重なり、売上総利益率は高水準を維持した。



	2014年1月期第1Q	2014年1月期第2Q	2014年1月期第3Q	2014年1月期第4Q	2015年1月期第1Q	2015年1月期第2Q
売上高(百万円)	18,890	10,580	13,409	14,193	20,894	11,641
売上総利益率(%)	16.0	15.3	17.4	17.0	18.4	17.1

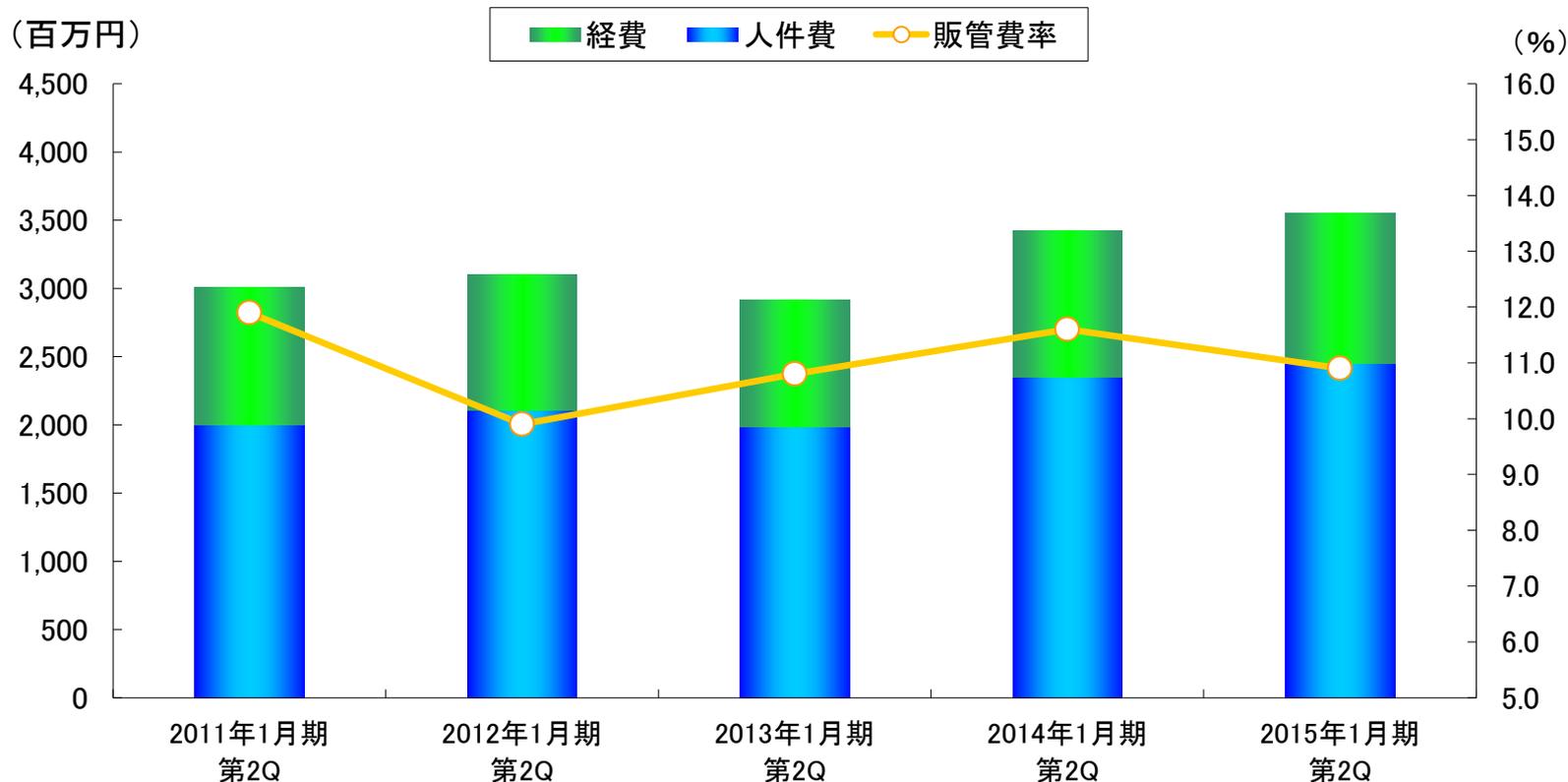
利益および利益率の推移

● 売上総利益率については過去最高水準にある。



販売費および一般管理費の推移

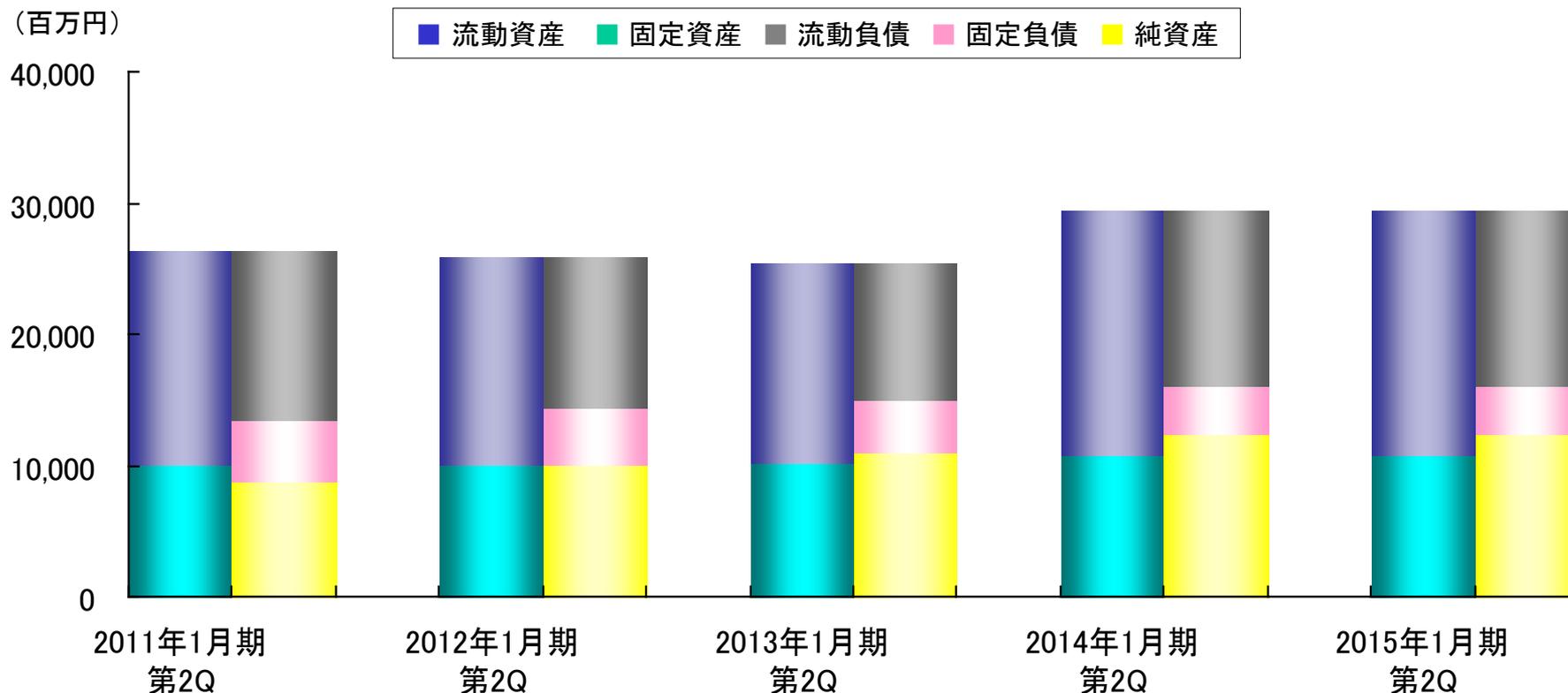
- 販管費総額は微増となったが、販管費率は売上高が増加したこともあり、減少した。
- 従業員数の推移（連結） 2013年7月 1,073人 2014年7月1,120人と47人増加。



	2011年1月期第2Q	2012年1月期第2Q	2013年1月期第2Q	2014年1月期第2Q	2015年1月期第2Q
人件費(百万円)	2,003	2,106	1,986	2,353	2,454
経費(百万円)	1,003	996	926	1,071	1,097
販管費率(%)	11.9	9.9	10.8	11.6	10.9

B/S主要項目の推移

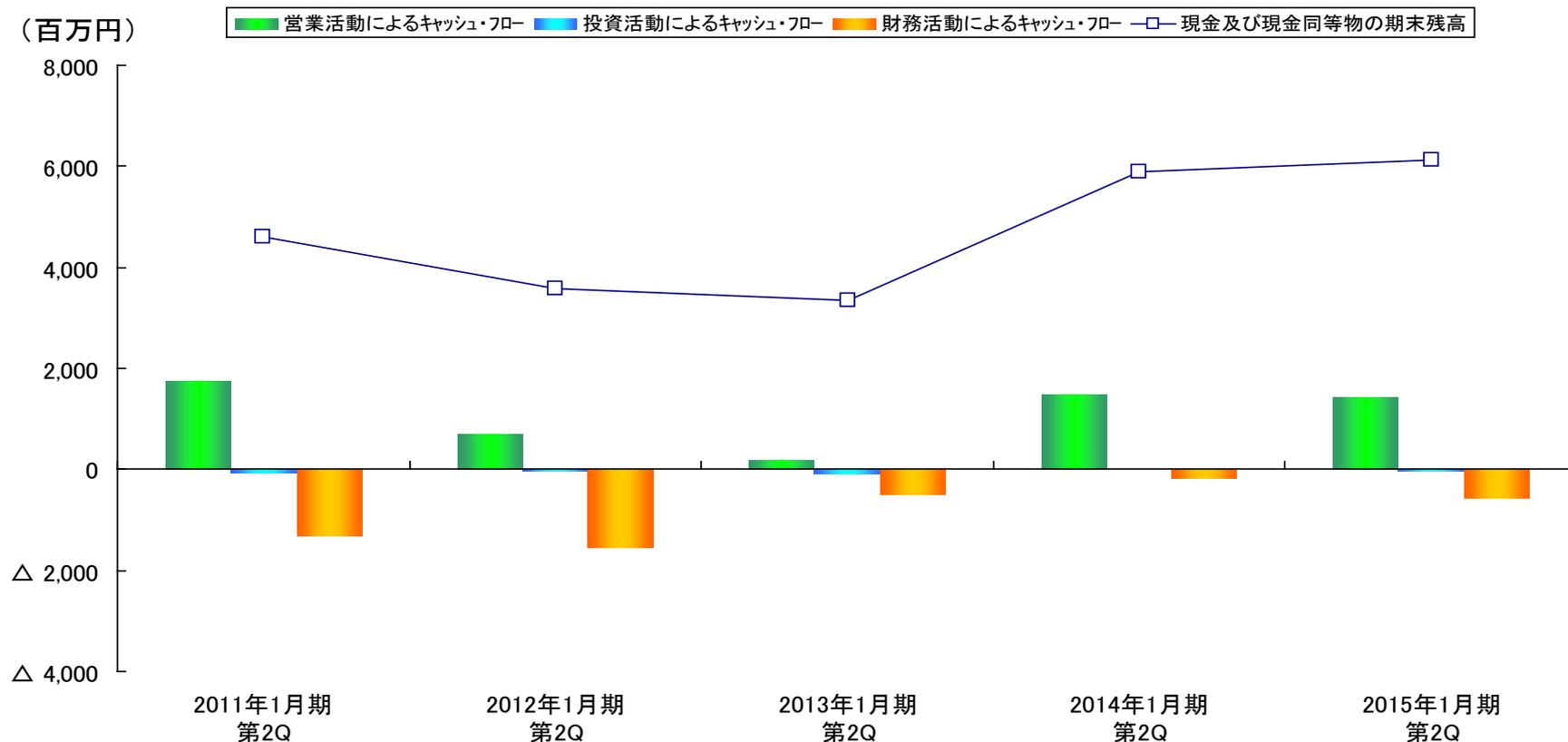
● 自己資本比率 当第2四半期 46.7% (対前年同期比+4.5%)



	2011年1月期第2Q	2012年1月期第2Q	2013年1月期第2Q	2014年1月期第2Q	2015年1月期第2Q
自己資本(百万円)	8,790	10,153	10,969	12,424	15,482
自己資本比率(%)	33.3	39.1	43.0	42.2	46.7

キャッシュ・フローの推移

● 税金等調整前四半期純利益を23億71百万円計上したこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは14億47百万円となった。



（単位：百万円）	2011年1月期第2Q	2012年1月期第2Q	2013年1月期第2Q	2014年1月期第2Q	2015年1月期第2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,755	706	191	1,507	1,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53	△18	△87	22	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,319	△1,533	△490	△155	△549
現金及び現金同等物の期末残高	4,593	3,581	3,332	5,903	6,130

PART 2

2015年1月期 第2四半期 セグメント別 業績概況

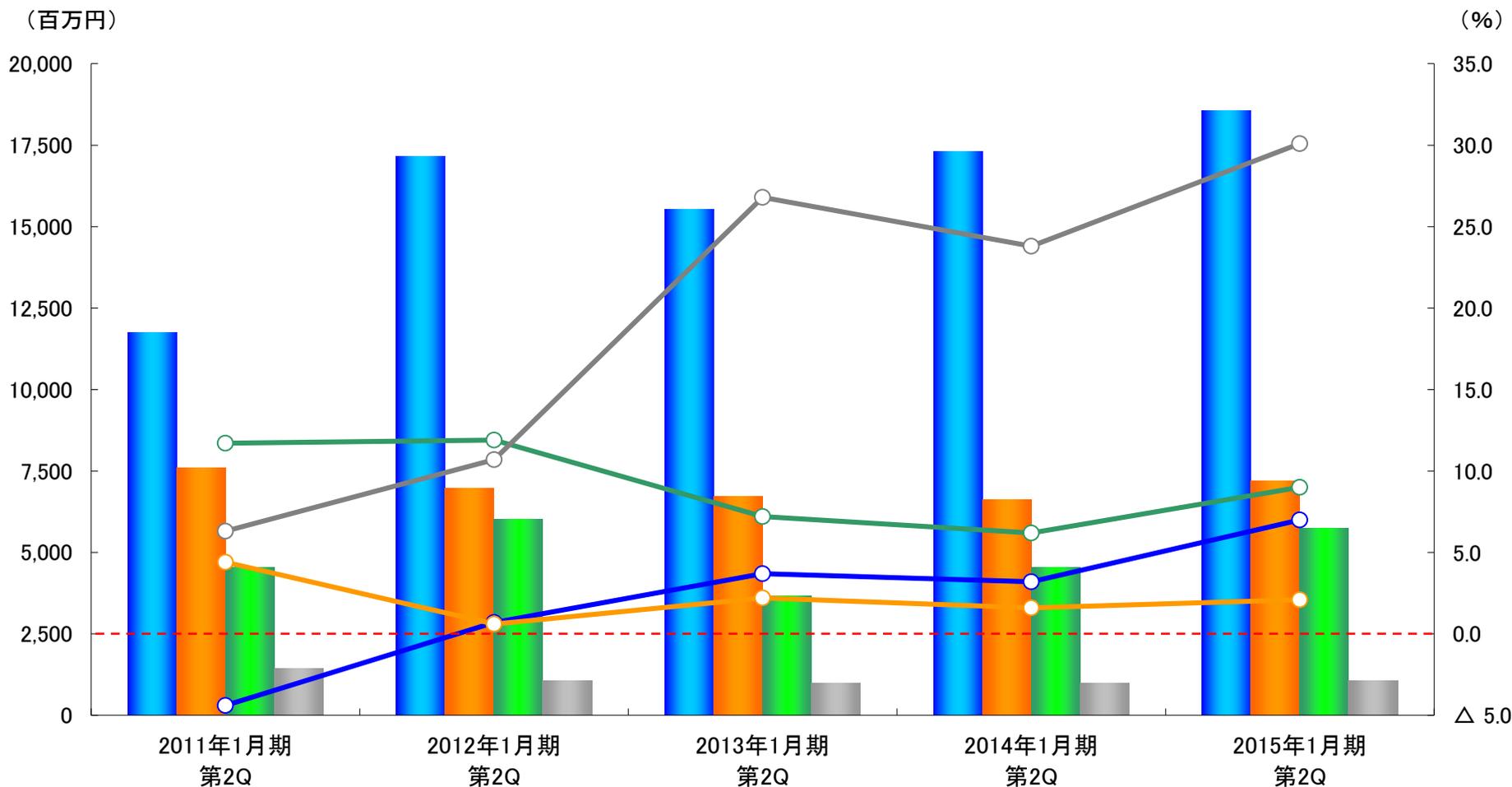
2015年1月期 第2四半期 セグメント別業績概況

● 商業その他 施設事業	市場環境の改善を受け、各種専門店ならびに空港関連施設、オフィス等の受注が増加したことおよび収益性向上に向けた施策が寄与したこと等から、売上高・営業利益ともに堅調に推移
● チェーンストア 事業	アパレル分野において厳しい受注競争が続いているが、飲食店分野が堅調に推移したため、売上高・営業利益ともに前年同期を上回った
● 文化施設事業	公共投資が堅調に推移する等、市場環境の改善を受け、売上高・営業利益ともに前年同期を上回った
● その他	商業施設における運営管理業務、不動産賃貸管理業務およびその他グループ会社の収益が堅調に推移

(百万円)

	売上高			営業利益		
	14/01 第2Q	15/01 第2Q	増減	14/01 第2Q	15/01 第2Q	増減
商業その他施設事業	17,318	18,550	1,231	552	1,305	753
チェーンストア事業	6,608	7,187	578	106	148	42
文化施設事業	4,550	5,744	1,193	282	518	235
その他	992	1,054	61	235	316	81
調整額	—	—	—	43	6	△36
合計	29,470	32,536	3,066	1,220	2,295	1,075

2015年1月期 第2四半期 セグメント別業績概況



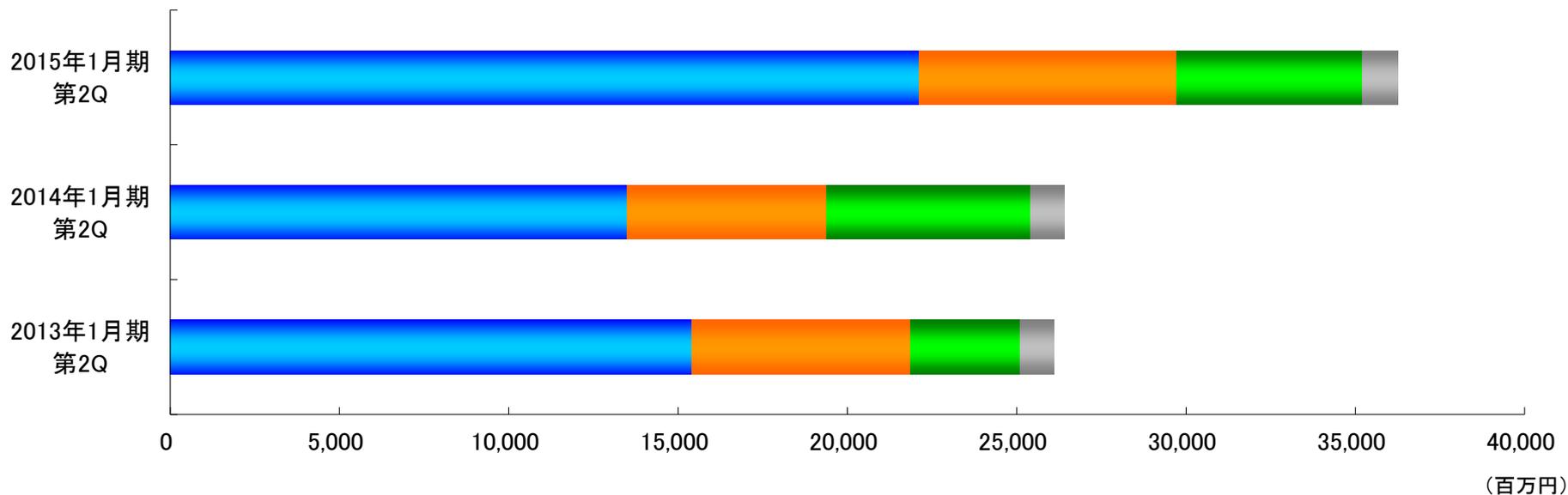
セグメント別 受注高の状況

- 主に商業その他施設事業において、市場環境の改善ならびに企画段階からの受注獲得が増加し、受注高は大幅増となった。

(百万円)

	14/01 第2Q	15/01 第2Q	増 減
商業その他施設事業	13,491	22,131	8,640
チェーンストア事業	5,906	7,593	1,686
文化施設事業	6,013	5,474	△538
その他	992	1,054	61
受注高合計	26,403	36,253	9,849

■ 商業その他施設事業 ■ チェーンストア事業 ■ 文化施設事業 ■ その他



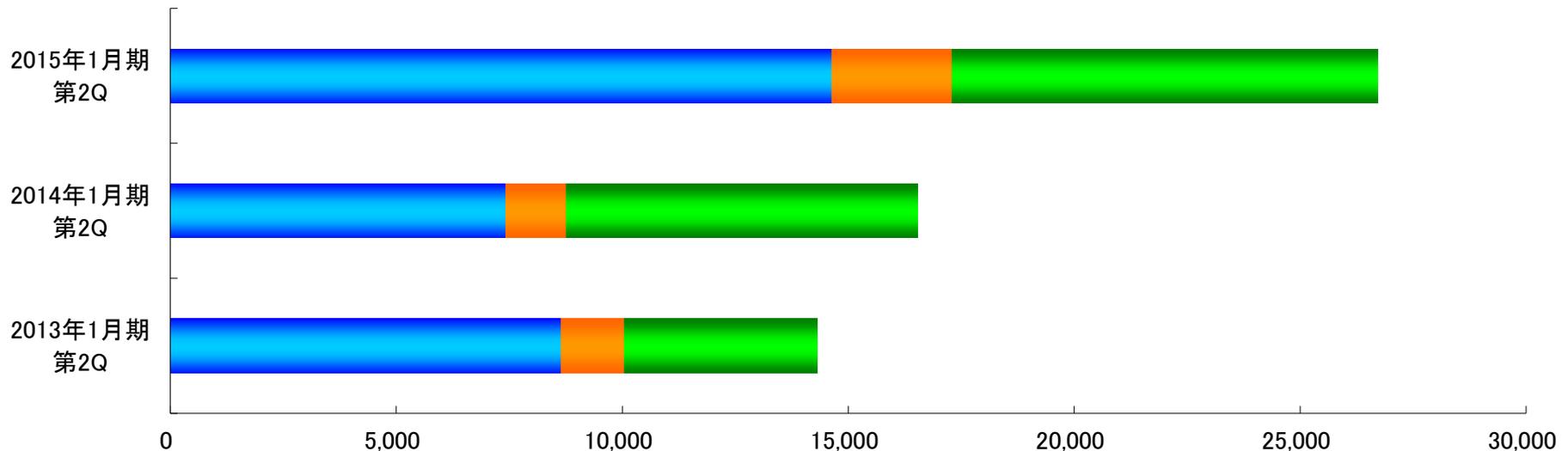
セグメント別 受注残高の状況

- 主に商業その他施設事業において、新規受注高が大幅に増加したことを受け、受注残高についても大幅増となった。

(百万円)

	14/01 第2Q	15/01 第2Q	増減
商業その他施設事業	7,429	14,648	7,218
チェーンストア事業	1,340	2,662	1,322
文化施設事業	7,770	9,410	1,640
その他	—	—	—
受注残高合計	16,541	26,722	10,181

■ 商業その他施設事業 ■ チェーンストア事業 ■ 文化施設事業 ■ その他



(百万円)

PART 3

2015年1月期 業績見通し

2015年1月期 業績見通し

(百万円)

	2014/1				2015/1			
	第2Q実績		通期実績		第2Q実績		通期見通し	
	金額	構成比 (%)						
受 注 高	26,403		60,471		36,253		66,000	
売 上 高	29,470	100.0	57,074	100.0	32,536	100.0	61,000	100.0
売 上 総 利 益	4,645	15.8	9,392	16.5	5,847	18.0	10,400	17.0
営 業 利 益	1,220	4.1	2,061	3.6	2,295	7.1	2,700	4.5
経 常 利 益	1,287	4.4	2,177	3.8	2,323	7.1	2,800	4.4
当 期 純 利 益	1,100	3.7	2,565	4.5	1,701	5.2	2,000	3.3
E P S (円)	34.25		79.89		53.03		62.35	
R O E (%)	8.9		20.3		11.0		12.6	

※ 2014年2月1日付で株式分割(1:1.3)を実施しており、EPSについては株式分割の影響を遡及させて記載しております。

※ 2014年8月29日付で2015年1月期の業績予想を修正しております。

2015年1月期 セグメント別 業績見通し

(百万円)

		2014年1月期		2015年1月期	
		第2Q実績	通期実績	第2Q実績	通期見通し
商業その他施設事業 チェーンストア事業 文化施設事業 その他	商業その他施設事業	17,318	33,083	18,550	35,550
	チェーンストア事業	6,608	13,043	7,187	14,000
	文化施設事業	4,550	8,799	5,744	9,200
	その他	992	2,147	1,054	2,250
売上高計		29,470	57,074	32,536	61,000
商業その他施設事業 チェーンストア事業 文化施設事業 その他 調整額	商業その他施設事業	552	877	1,305	1,560
	チェーンストア事業	106	182	148	300
	文化施設事業	282	442	518	340
	その他	235	515	316	500
	調整額	43	43	6	—
営業利益計		1,220	2,061	2,295	2,700

※ 2014年8月29日付で2015年1月期の業績予想を修正しております。

株式会社 丹青社

(証券コード:9743)

<http://www.tanseisha.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ
経営管理統括部長 戸高 久幸
(htodaka @ tanseisha.co.jp)